



俳句ゆめクラブ会報

2022年12月13日

第 150 号

互 選

今年最後の句会で兼題は「年の暮」、それぞれの句が成程と思われる年末の情景であり感想である、歳をとると一年の間に色々あっても何だか直ぐに年末が来るようで、それも毎年早くなるような気がする、そんな今日この頃である。

今回は忘年会をするのはコロナで無理だろうとの事で県活のレストランに11時半に集まり昼の食事を皆で行った、自分の好きな料理を注文して食べながら楽しく会話を楽しんだひと時であった。

梅田先生の句

年の暮今年も宝くじを買ふ
凍て星や九条語る友は逝き
一番電車待つ人まばら寒波来る

梅田先生選

《特選》
一年の呆気なく過ぎ年の暮
こもこもの積り積りて年の暮
落葉して大樹無防備並び立ち
一年の無事をよるこび事はじめ
朴落葉踏めば足裏の埋もれる
一輪のなほ咲きつづけ冬薔薇

電話して無事をたしかめ年の暮
片手桶片手雑巾年の暮
大櫓見上げ冬空広きこと
子供らと空を見上げる初しぐれ
極月の満月見上げ立ち尽くす

《入選》

葉の散りて山菜萸の実のルビー色
寒湯治一目気になり落ち着かず
年の暮夢を抱いて宝くじ
師走空あれもこれもと急きあしが
大熊手氷川の柱に並び立ち
捨て去りし後の安けさ年の暮
大雪やワールドカップは激戦ぞ
大波のごとく飾りし熊手市
鎌倉は義時ブーム紅葉寺
空澄みて朱の極まれる残り柿
冬茜子供らの声消ゆる頃
つつましく日陰に灯る藪柑子
ふらり出て鍵の気になる年の暮
風の道落葉吹き寄せうず高く
着膨れて一と月振りに会ふ笑顔
アメ横に今年も向かふ年の暮

鈴木幸恵
瀬戸川公子
長澤輝子
岩松忠子
八千代幸男

瀬戸川公子
鈴木幸恵
長澤輝子
小林健一郎
八千代幸男
吉野利美子
瀬戸川公子
岡田時雄
鈴木幸恵
浅見法子
岩松忠子
小林健一郎
岡田時雄
長澤輝子
吉野利美子
八千代幸男

年の暮夢を抱いて宝くじ (3票) 長澤輝子
捨て去りし後の豊かさ年の暮 (3票) 吉野利美子
朴落葉踏めば足裏を上回り (3票) 岡田時雄
一輪の咲きつづけたる冬薔薇 (3票) 吉野利美子
空澄みて朱を極めたる残り柿 (3票) 浅見法子
大ケヤキ見上げる冬空広きこと (4票) 長澤輝子
凍て星や九条語る友は逝き (6票) 梅田ひろし

〔決定事項・連絡事項〕

・次回句会 2023年1月24日(火)

県活・2022号室(13時より)

(当番: 浅見、岩松)

兼題 「読始め」、「読初め」

・今回は9名出席(欠席: 長澤 // 投句あり)、宮島)

(小林健一郎記)

良いお年をお迎え
くださいませ!

